

2025 年度日本数学会季期研究所
MSJ Seasonal Institute (MSJ-SI) 2025/2026

日本数学会学術委員会

2025 年度 MSJ-SI のテーマ公募をいたします。

1.開催目的

- 国内での数学研究のより一層の活性化
- 次世代研究者の育成
- 海外の数学者との交流の促進，および国際貢献

2.運営組織

- 組織委員長 1 名のもと，組織委員会を構成し，講演者・プログラムの決定などすべての決定を行う。
- 組織委員会は事前に学術委員会と連絡をとり，理事長名による招待状の発送，ポスターの発送，Web ページの管理，講演者の情報および旅行日程の管理，ビザ申請書類作成，開催日レジストレーション等の開催の準備について責任をもつものとする。（ビザ発行など招聘に関する手続き業務は組織委員会が行うこととし，日本数学会は行わない。）
- 日本数学会の学術委員会は適宜，助言を与えるものとする。

3.財政基盤について

数学会から 200 万円程度が組織委員会に援助される。これ以上の費用を必要とする場合は，組織委員会が各種財団・公的資金に応募するものとする。

4.開催条件

- 開催主体は日本数学会とする。場合により，大学や財団法人等非営利団体との共同主催・共催・後援も可能とする。やむを得ない場合には，企業等による協賛・後援も許容する。
- 規模は組織委員会の決定に任せられるが，海外からの招待講演者を必ず含むものとし，また招待講演者の一部によるサーベイ形式の講演を行うものとする。

- 日本数学会と連携する海外数学会・研究所等を通じて、海外からの若手の研究者を招待することを奨励する。韓国数学会・台湾数学会から、数名ずつの参加者の推薦が予定されている。
- ジェンダーや地域性などのダイバーシティにも配慮すること。
- 開催は、日本国内で行うものとする。
- 参加登録は会場施設の許す限りオープンに受け付ける。
- レフェリーつきの研究あるいはサーベイ論文を主とする報告集を作成し、原則として数学会から出版する。
- 研究集会のアナウンスメントを、適宜、数学通信に掲載する。また、研究集会の開催後、開催報告も数学通信に掲載する。
- 研究集会終了後、開催報告書および会計報告書を数学会に提出する。

5. テーマ公募の方法

- 2025 年度中の開催に関して、数学会会員から広くテーマを募集する。
締切は、2023 年 5 月 31 日とする。
- 応募者は、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者（国外および国内：事前承諾は不要）を記入の上、その他参考となる資料があればそれを添えて、電子メールないし通常郵便にて提出する（次ページの用紙を参考のこと）。電子メールを利用する場合には、添付書類の形式は、テキストファイル、ないし PDF ファイルとする。一方、郵便の場合は、MSJ-SI テーマ公募と朱書すること。

送付先：日本数学会学術委員会委員長 塩谷 隆

電子メール: shioya(at)math.tohoku-u.ac.jp

郵便：〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学大学院理学研究科 数学専攻